

# イーストスプリング・ グローイング・アジア株式 オープン

追加型投信／海外／株式



ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

- 本書（交付目論見書）は、金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第13条の規定に基づく目論見書です。
- ファンドに関する金融商品取引法第15条第3項に規定する目論見書（以下「請求目論見書」といいます。）を含む詳細な情報は、委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードすることができます。
- 本書には投資信託約款の主な内容が含まれていますが、投資信託約款の全文は請求目論見書に掲載されています。
- ファンドの販売会社、基準価額等につきましては、以下の委託会社の照会先までお問合せください。

<委託会社> [ファンドの運用の指図を行う者]

**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社** 金融商品取引業者登録番号：関東財務局長（金商）第379号

ホームページアドレス <https://www.eastspring.co.jp/>

電話番号 03-5224-3400（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

<受託会社> [ファンドの財産の保管および管理を行う者]

**三井住友信託銀行株式会社**

商品分類			属性区分				
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産(収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
追加型投信	海外	株式	その他資産(投資信託証券(株式))	年2回	アジア	ファンド・オブ・ファンズ	なし

※商品分類および属性区分の内容につきましては、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)にてご覧いただけます。

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しています。

- 本書により行う「イーストスプリング・グローイング・アジア株式オープン」(以下「当ファンド」といいます。)の募集につきましては、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2023年9月19日に関東財務局長に提出しており、2023年9月20日にその届出の効力が生じております。
- 当ファンドの商品内容に関して重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号)に基づき、事前に受益者の意向を確認する手続きを行います。
- 投資信託の財産は、信託法に基づき受託会社において分別管理されています。
- 請求目論見書は、投資者の請求により販売会社から交付されます。販売会社に請求目論見書をご請求された場合は、当該請求を行った旨をご自身で記録しておくようにしてください。

#### <委託会社の情報>

委託会社名	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
設立年月日	1999年12月1日
資本金	649.5百万円(2023年6月末現在)
運用する投資信託財産の合計純資産総額	4,671億円(2023年6月末現在)

# 1 ファンドの目的・特色

## ファンドの目的

当ファンドは、主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。

※本書において、投資信託または外国投資信託の受益証券および投資法人または外国投資法人の投資証券を「投資信託証券」といいます。

## ファンドの特色

### 1 「グローイング・アジア」の株式を実質的な主要投資対象とします。

▶ 主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式に実質的に投資を行い、中長期的な値上り益の獲得を目指して運用を行います。

◆高い経済成長が続くアジア地域で、今後も特に高い成長が期待できると考えられる国々を当社では「グローイング・アジア」と呼び、当ファンドの実質的な主要投資対象国とします。

◆主としてルクセンブルグ籍外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ」のサブファンド\*（米ドル建て）への投資を通じて、主要投資対象国の株式に投資を行います。ただし、一部の投資対象国については、市場の流動性等により、ETF（上場投資信託）への投資を通じて株式に投資を行うことがあります。

※一般に、一つの外国投資法人の下で運用対象に応じて個々に設定されるファンドをサブファンドといいます。実際の運用はサブファンドごとに行われます。

#### <主要投資対象国>

中国、インド、マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム

（2023年6月末現在。主要投資対象国は、今後変更される場合があります。）



## 2 投資信託証券への投資に当たっては、イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。

### 充実したアジアのネットワーク

◆イーストスプリング・インベストメンツの属するグループは、アジアにおける15の国や地域で生命保険および資産運用事業を展開しています。

◆当ファンドの運用および組入投資信託証券の運用を担当するイーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドは、グループ内のアジア各国・地域の運用会社と連携して運用を行います。

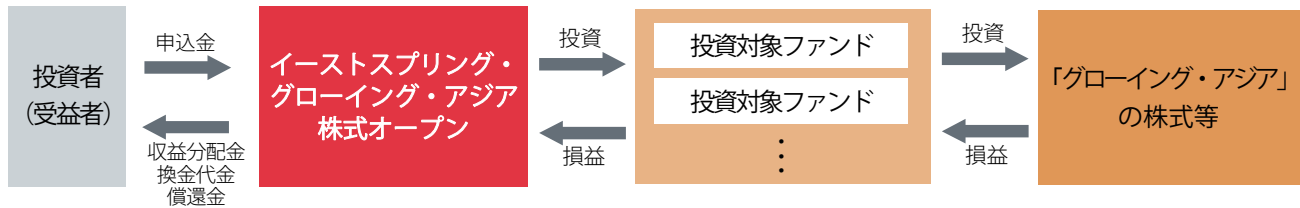


（2023年6月末現在）

### 3 ファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。

#### ファンドの仕組み

- ▶ 当ファンドは、複数の投資信託証券（投資対象ファンド）に投資するファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。



※投資信託証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。

※投資信託証券（投資対象ファンド）にはETFを含みます。

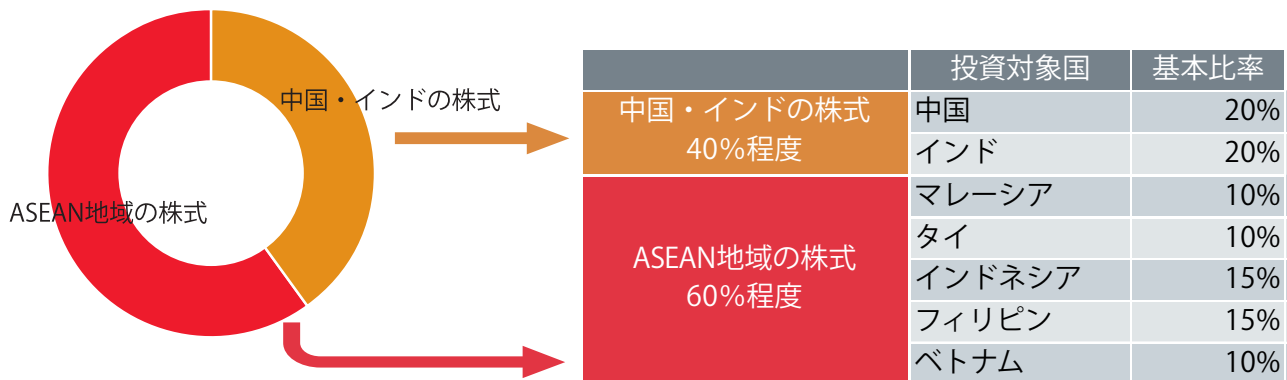
※ファンドは実質的にアジア各国・地域の株式に投資するため、その基準価額は、株式の値動きに加え、主に円対現地通貨等の為替相場の動きに影響を受けます。

### 4 実質的な主要投資対象国の選定および国別の投資割合は、株式市場の規模および市場見通しに基づいて決定されます。

- ▶ 当ファンドは、原則として、アジアの経済成長を牽引する中国とインドの株式に40%程度、内需拡大や輸出の増加などから高い成長が期待されるASEAN地域の株式に60%程度、実質的に投資を行います。
- ▶ 実際の投資割合は、市場動向等を勘案し、基本比率の上下一定の範囲内で決定されます。

#### <国別の基本比率>

(純資産総額ベース、2023年6月末現在)



※市況動向および資金動向等により、上記のような運用ができない場合があります。

※国別の基本比率および投資対象とする投資信託証券は、今後変更される場合があります。投資対象とする投資信託証券については、次ページの<追加的記載事項>をご参照ください。

※ASEAN：東南アジア諸国連合。1967年、域内における経済成長、社会・文化的発展の促進などを目的に設立。インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジアの10カ国が加盟（2023年6月末現在）。

### 5 原則として、為替ヘッジを行いません。

- ▶ 実質的に組入れた外貨建資産について、原則として為替ヘッジは行いません。そのため、為替相場の変動の影響を受けることになります。

## <追加的記載事項>

投資対象としている投資信託証券の概要は以下の通りです。

下記の記載事項は、2023年6月末日現在、委託会社が知り得る情報に基づき作成しておりますが、今後記載内容が変更される場合があります。また、実際の投資にあたっては、すべての投資信託証券に投資するとは限りません。

投資信託証券の名称	運用会社	運用報酬および管理報酬(年率)	ベンチマーク	主要投資対象
イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド クラスJ	イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール) リミテッド	0.375%程度	MSCI China 10/40 Index (MSCIチャイナ 10/40指数) ※1	中国で設立または上場している企業、主に中国において事業展開を行っている企業、収益の相当部分を中国で得ている企業、子会社または関連会社が収益の相当部分を中国で得ている企業の株式
イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラスJ	イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール) リミテッド	0.375%程度	MSCI India Index (MSCIインド指数) ※1	インドで設立または上場している企業、インドにおいて主に事業展開を行っている企業の株式
イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンド クラスJ	イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール) リミテッド	0.4%程度	MSCI Malaysia Index (MSCIマレーシア指数) ※1	マレーシアで設立または上場している企業、マレーシアにおいて主に事業展開を行っている企業の株式
イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ	イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール) リミテッド	0.375%程度	SET50 Index (SET50指数) ※2	タイで設立または上場している企業、タイにおいて主に事業展開を行っている企業の株式
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール) リミテッド	0.375%程度	MSCI Indonesia 10/40 Index (MSCIインドネシア 10/40指数) ※1	インドネシアで設立または上場している企業、インドネシアにおいて主に事業展開を行っている企業の株式
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ	イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール) リミテッド	0.4%程度	PSEi Index (フィリピン総合指数) ※3	フィリピンで設立または上場している企業、フィリピンにおいて主に事業展開を行っている企業の株式
イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド クラスJ	イーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール) リミテッド	0.45%程度	MSCI Vietnam 10/40 Index (MSCIベトナム 10/40指数) ※1	ベトナムで設立または上場している企業、主にベトナムにおいて事業展開を行っている企業、収益の相当部分をベトナムで得ている企業、子会社または関連会社が収益の相当部分をベトナムで得ている企業の株式
iシェアーズ MSCI マレーシアETF	ブラックロック・グループ	0.5%程度※5	MSCI Malaysia Index (MSCIマレーシア指数) ※1	マレーシアの株式等
ヴァンエック・ベクトル・ベトナムETF	ヴァン・エック・アソシエーツ・コーポレーション	0.61%程度※5	MVIS Vietnam Index (MVISベトナム指数) ※4	ベトナムの株式等

※1 MSCI 指数は MSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※2 SET50 Index (SET50 指数) は、タイ証券取引所 (以下「SET」といいます。) がその商標権を有し、その知的財産権は SET にあります。SET はその適切性、十分な品質その他を保証するものではありません。SET は本情報を利用することにより生じうる過誤、省略または損失について何ら責任を負いません。

※3 PSEi Index (フィリピン総合指数) はフィリピン証券取引所が公表している指数です。

※4 MVIS® インデックスは、知的財産権、不正競争および不正流用に関する様々な法令等によって保護されています。なお、MVIS は Van Eck Associates Corporation の登録商標です。

※5 ETF の運用報酬および管理報酬の料率は、2022 年以降での最大の数値を表示しており、年度により変更になる可能性があります。

\* 上記の投資信託証券は全て米ドル建てです。

## 収益分配方針

- 原則として毎年6月20日および12月20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。
- 分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 主な投資制限

- 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
- 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
- 株式への直接投資は行いません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## 2 投資リスク

### 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金とは異なります。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて主に値動きのある有価証券に投資するため、当ファンドの基準価額は投資する有価証券等の値動きによる影響を受け、変動します。また、外貨建資産に投資しますので、為替変動リスクもあります。したがって、当ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。当ファンドの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。

### <基準価額の変動要因となる主なリスク>



#### 株価変動リスク

株式の価格は、内外の政治経済情勢、株式を発行する企業の業績および信用状況等の変化の影響を受け変動します。当ファンドは主に株式に実質的に投資を行いますので、基準価額は株価変動の影響を受けます。



#### 為替変動リスク

当ファンドは、実質的に組入れた外貨建資産について原則として為替ヘッジを行いませんので、為替レートの変動の影響を受けます。為替相場が円高方向に変動した場合には、基準価額の下落要因となります。



#### 信用リスク

有価証券の発行者の経営・財務状況やそれらに対する外部評価の悪化により、組入れた有価証券の価格が大きく下落し、基準価額の下落要因となる場合があります。



#### 流動性リスク

組入れた有価証券の市場規模が小さく取引量が少ない場合や市場が急変した場合、当該有価証券を希望する時期や価格で売却できないことがあり、基準価額の下落要因となる場合があります。



#### カントリーリスク

新興国の金融市場は先進国に比べ、安定性、流動性等の面で劣る場合があります。政治、経済、国家財政の不安定要因や法制度の変更等に対する市場感応度が大きくなる傾向があります。これに伴い、投資資産の価格が大きく変動することや投資資金の回収が困難になることがあります。

(注) 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（流動性の極端な減少等）があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けたお申込みの受付を取消すことがあります。
- 分配金は計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。））を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後は純資産が減少し、基準価額が下落する要因となります。投資者のファンドの購入価額によっては、支払われた分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。
- 税制が変更されたときには、基準価額が影響を受ける場合があります。税金の取扱いにかかる関連法令・制度等は将来変更される場合があります。

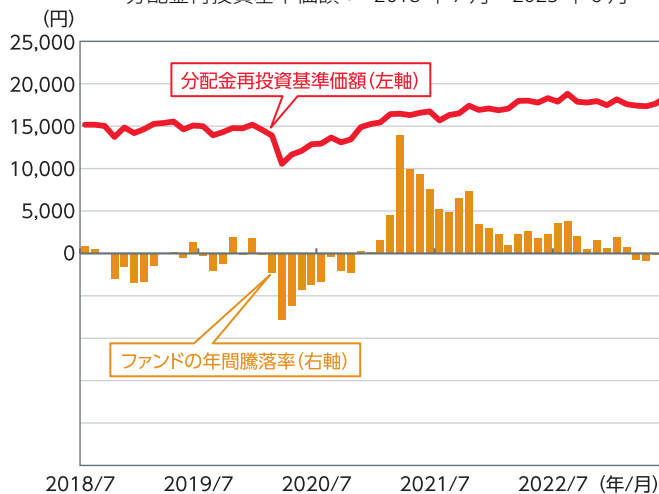
## リスクの管理体制

- 委託会社では運用部門において、運用の委託先における投資方針の遵守状況や運用状況の確認および投資対象ファンドにおける運用状況の確認、ならびに投資リスク等のフロント・モニタリングを行います。さらに、運用部門から独立した部署が、当ファンドの投資ガイドライン等の遵守状況等に関し当該委託先から定期的な報告を求めるなどの所要のモニタリングを行います。また、リスク・コンプライアンス委員会は当ファンドのリスク全般の管理を行います。
- 委託会社では流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行います。取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や態勢について監督します。

## 参考情報

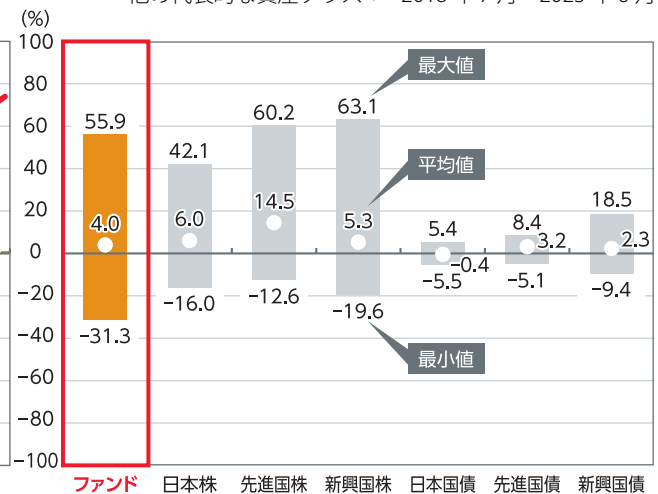
### ■ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

ファンドの年間騰落率： 2018年7月～2023年6月  
分配金再投資基準価額： 2018年7月～2023年6月



### ■ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

ファンド： 2018年7月～2023年6月  
他の代表的な資産クラス： 2018年7月～2023年6月



※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※右のグラフは、ファンドと他の代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

### <各資産クラスの指数>

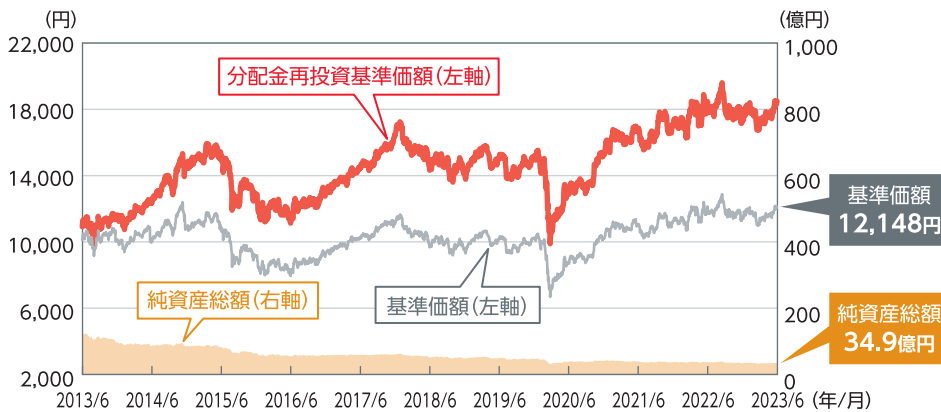
日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	東証株価指数 (TOPIX) の指数値及び TOPIX に係る標章又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社 (以下「J P X」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など TOPIX に関するすべての権利・ノウハウ及び TOPIX に係る標章又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、TOPIX の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI 指数 (MSCI コクサイ・インデックス、MSCI エマージング・マーケット・インデックス) は MSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI 国債	NOMURA-BPI は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。
先進国債	JP モルガン GBI グローバル (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	JP モルガン GBI グローバル (除く日本、ヘッジなし・円ベース)、JP モルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) は J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権は J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。
新興国債	JP モルガン GBI-EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を委託会社が円換算したものです。

### 3 運用実績

2023年6月30日現在

#### ■基準価額・純資産の推移 (過去10年間)



※基準価額は、信託報酬控除後の数値です。

※分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後かつ税引前分配金を全額再投資したものと計算しています。

#### ■分配の推移

(1万口当たり・税引前)

決算期	分配金
2023年 6月	0円
2022年12月	0円
2022年 6月	0円
2021年12月	0円
2021年 6月	200円
<b>設定来累計</b>	<b>4,500円</b>

※分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

#### ■主要な資産の状況

組入資産	投資比率(%)
イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラスJ	19.37
イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド クラスJ	19.08
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ	14.47
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	14.38
イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンド クラスJ	9.58
イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド クラスJ	9.58
イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラスJ	9.50
現金・その他	4.04

※比率は、純資産総額を100%として計算しています。四捨五入の関係上、合計値が100%にならないことがあります。

#### 組入上位銘柄 (各投資対象ファンド別)

イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド				イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド			
銘柄	業種	比率(%)		銘柄	業種	比率(%)	
1 Tencent Holdings Ltd	メディア・娯楽	10.05		1 Reliance Industries Ltd	エネルギー	8.97	
2 Alibaba Group Holding	一般消費財・サービス流通・小売り	9.91		2 ICICI Bank Ltd	銀行	6.24	
3 Meituan Inc	消費者サービス	7.85		3 Axis Bank Ltd	銀行	6.08	
4 Ping An Insurance (Group) Company of China Ltd	保険	4.02		4 Mahindra and Mahindra Ltd	自動車・自動車部品	4.26	
5 JD.com Inc	一般消費財・サービス流通・小売り	3.74		5 SBI Life Insurance Company Ltd	保険	4.06	
イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンド				イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド			
銘柄	業種	比率(%)		銘柄	業種	比率(%)	
1 CIMB Group Holdings Bhd	銀行	9.51		1 Airports of Thailand PCL	運輸	8.41	
2 Malayan Banking Bhd	銀行	9.31		2 CP All PCL	生活必需品流通・小売り	8.01	
3 Public Bank Bhd	銀行	8.56		3 PTT PCL	エネルギー	7.26	
4 Press Metal Aluminium Holdings Bhd	素材	5.30		4 Advanced Info Service PCL	電気通信サービス	7.15	
5 Petronas Chemicals Group Bhd	素材	4.39		5 PTT Exploration and Production PCL	エネルギー	5.11	
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド				イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド			
銘柄	業種	比率(%)		銘柄	業種	比率(%)	
1 Bank Mandiri Persero Tbk PT	銀行	10.32		1 SM Investments Corp	資本財	10.09	
2 Telkom Indonesia Persero Tbk PT	電気通信サービス	9.85		2 SM Prime Holdings Inc	不動産管理・開発	10.01	
3 Bank Rakyat Indonesia Persero	銀行	9.73		3 BDO Unibank Inc	銀行	8.90	
4 Bank Central Asia Tbk PT	銀行	8.20		4 Bank of the Philippine Islands	銀行	6.67	
5 Bank Negara Indonesia Persero	銀行	4.98		5 Universal Robina Corp	食品・飲料・タバコ	5.53	



イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド

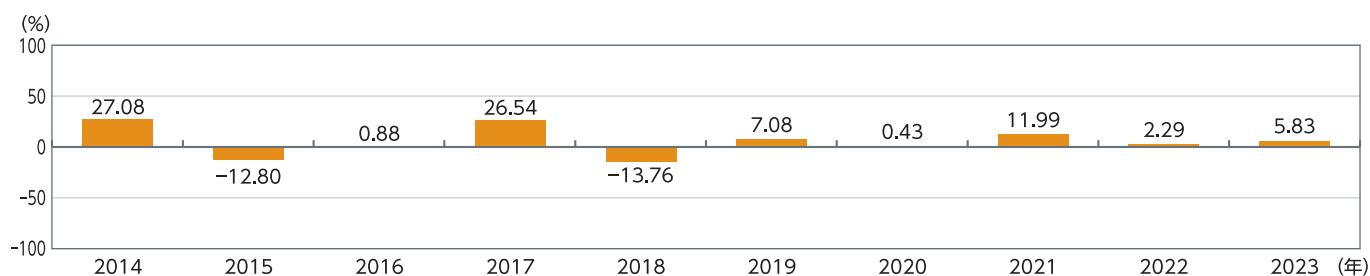
銘柄	業種	比率(%)
1 Hoa Phat Group JSC	素材	9.79
2 Saigon Thuong Tin Commercial Joint Stock Bank	銀行	8.30
3 Vietnam Joint Stock Commercial Bank	銀行	8.06
4 Vietnam Dairy Products JSC	食品・飲料・タバコ	7.83
5 Joint Stock Commercial Bank for Foreign Trade of Vietnam	銀行	6.78

※業種区分は、原則として MSCI/S&P GICS に準じています（一部当社判断に基づく分類を採用）。なお、GICS に関しての知的財産権は、MSCI Inc. および S&P にあります。

※比率は、各投資対象ファンドの組入銘柄評価額の合計を 100%として計算しています。

## ■年間収益率の推移

※当ファンドにはベンチマークはありません。



※年間収益率は、税引前分配金を全額再投資したもものとして計算しています。

※2023 年は、6 月末までの収益率です。

※最新の運用実績は別途、委託会社のホームページでご確認いただけます。

※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

## 4 手続・手数料等

### お申込メモ

購入単位	販売会社がそれぞれ別に定める単位とします。 詳細については、お申込みの販売会社にお問合せください。
購入価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みの販売会社の定める日までにお支払いください。
換金単位	販売会社がそれぞれ別に定める単位とします。
換金価額	換金の受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額とします。
換金代金	換金の受付日から起算して原則として6営業日目からお支払いします。
購入・換金申込受付不可日	営業日が以下①～③の日のいずれかにあたる場合は、購入・換金のお申込みはできません。 ①シンガポールの金融商品取引所の休場日または銀行休業日 ②ルクセンブルグの金融商品取引所の休場日または銀行休業日 ③インドおよび中国の金融商品取引所がともに休場となる日
申込締切時間	原則として午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込分とします。
購入の申込期間	2023年9月20日から2024年3月18日までとします。 ※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けたお申込みの受け付けを取消すこと、またはその両方を行うことがあります。
信託期間	無期限（2007年6月29日設定）
繰上償還	以下のいずれかにあたる場合には、受託会社と合意のうえ、繰上償還を行うことがあります。 ①受益権の総口数が10億口を下回ることとなった場合 ②受益者のため有利であると認める場合 ③やむを得ない事情が発生した場合
決算日	毎年6月20日および12月20日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	原則として年2回の決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。 また、受益者と販売会社との契約によっては、税金を差引いた後、無手数料で収益分配金の再投資が可能です。
信託金の限度額	1,000億円
公 告	日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	委託会社は、年2回の決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に交付します。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。当ファンドは、2024年1月1日以降のNISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象となる予定ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 益金不算入制度および配当控除の適用はありません。
その他注意事項	当ファンドは、1940年の米国投資会社法に基づいて登録されていません。また、1933年米国証券法（改正済み）に基づいて登録されておらず、米国、米国の海外領土において、もしくは「米国人」 <sup>(注)</sup> に対して販売勧誘（募集）または販売されることはありません。  (注) 米国民、永住者、米国の法律または米国内の管轄権に基づいて組織された事業体（外国支社も含む）または米国内にいる個人が含まれます。
基準価額の新聞掲載	原則として、翌日付の日本経済新聞朝刊「オープン基準価格」欄に「グロアジ」として掲載されます。

## ファンドの費用・税金

### <ファンドの費用>

#### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	<p><b>3.3% (税抜 3.0%) を上限</b>として販売会社がそれぞれ別に定める率を、お申込受付日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額とします。</p> <p>購入時におけるファンドや関連する投資環境の説明および情報提供、購入に関する事務手続き等の対価として、販売会社にお支払いいただくものです。</p>
信託財産留保額	換金の受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額とします。

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬等)	<p>純資産総額に対して年率 1.463% (税抜 1.33%) 計算期間を通じて毎日費用として計上され、日々の基準価額に反映されます。信託財産からは毎計算期末または信託終了時に支払われます。</p> <p>&lt;当ファンド①の配分&gt;</p>	<p>信託報酬＝ 運用期間中の基準価額×信託報酬率</p>		
当ファンド①	各販売会社の取扱い純資産残高のうち			
		100 億円以下の部分	100 億円超の部分	
	委託会社	年率 0.660% (税抜 0.60%)	年率 0.605% (税抜 0.55%)	委託した資金の運用の対価
	販売会社	年率 0.770% (税抜 0.70%)	年率 0.825% (税抜 0.75%)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
	受託会社	年率 0.033% (税抜 0.03%)	年率 0.033% (税抜 0.03%)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
投資対象とする 投資信託証券*②	年率 0.41475%程度			
実質的な負担* (①+②)	<b>年率 1.87775%程度 (税込)</b>			
その他の費用・ 手数料	<p>信託事務の処理等に要する諸費用 (監査費用、目論見書および運用報告書等の印刷費用、公告費用等) は、純資産総額に対して年率 0.10% を上限とする額が毎日計上され、日々の基準価額に反映されます。信託財産からは毎計算期末または信託終了時に支払われます。また、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等についても信託財産から支払われます。</p> <p>「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示することができません。</p>		<p>監査費用： 監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用</p> <p>売買委託手数料： 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料</p> <p>保管費用： 有価証券等の保管等のために海外銀行に支払う費用</p>	

\*2023 年 6 月末現在の基本比率に基づくものであり、投資信託証券の変更や組入状況等により変動することがあります。

※委託会社への報酬には、運用の委託先への報酬が含まれます。

※投資者のみなさまが負担する費用の合計額は、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## <税金>

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金
分 配 時	所得税及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して 20.315%
換 金（解 約）時 及 び 償 還 時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して 20.315%

※上記は、2023年6月末現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となりますが、2024年1月1日以降は、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、2024年1月1日以降は、税法上の要件を満たした商品を購入した場合に限り、非課税の適用を受けることができます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の場合は上記とは異なります。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

# M E M O

---

(本ページは目論見書の内容ではありません。)

# M E M O

---

(本ページは目論見書の内容ではありません。)

# M E M O

---

(本ページは目論見書の内容ではありません。)

